



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日
東

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所
 コード番号 2405 URL <http://fujikoh-net.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 直人
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)佐藤 陵枝 (TEL)03(3841)5431
 四半期報告書提出予定日 2019年2月1日 配当支払開始予定日 2019年3月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,920	10.1	161	19.8	123	8.3	94	31.3
2018年6月期第2四半期	1,744	△9.9	134	△41.4	114	△43.1	72	△41.6

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 94百万円 (31.3%) 2018年6月期第2四半期 72百万円 (△54.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年6月期第2四半期	20.88	—	—	—
2018年6月期第2四半期	15.90	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年6月期第2四半期	6,314	2,187	34.6%
2018年6月期	6,125	2,120	34.6%

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 2,187百万円 2018年6月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年6月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2019年6月期	—	6.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	12.3	300	56.6	240	70.3	170	197.8	37.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期2Q	4,541,000株	2018年6月期	4,541,000株
2019年6月期2Q	123株	2018年6月期	123株
2019年6月期2Q	4,540,877株	2018年6月期2Q	4,540,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における取り組みとして、建設系リサイクル事業においては、期初から引き続き注力しております計画的な受入数量を維持しつつ、焼却施設での処理数量の向上を推進するとともに、外注委託数量を確保することにより売上高の向上に努めてまいりました。一昨年末より実施されております廃プラスチック類等の輸出規制により、日本国内に多くの廃プラスチック類が滞留するとともに建設需要の増加等がプラスされ、国内の廃棄物処理に関する需要は異常な状況が継続しております。外注処理単価の高騰に加え外注委託先の受入制限等により厳しい事業環境でありました。

このような事業環境において、受入廃棄物の安定化及び外注委託費用、維持管理費用に連動する処理単価を見直すことにより、将来的な収益の改善に努めてまいりました。また中期的な事業拡大に向けた調査、検討を進めてまいりました。

これらの結果、売上高は電力小売事業の増加により、1,920百万円（前年同期比10.1%増）と第2四半期連結累計期間として過去最高の売上高となりました。

売上原価は電力小売事業の拡大により森林発電事業で電力仕入費が増加したため、1,644百万円（前年同期比9.9%増）となり、売上総利益は276百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費は114百万円（前年同期比0.9%増）となり、営業利益が161百万円（前年同期比19.8%増）となりました。経常利益は支払手数料の増加により123百万円（前年同期比8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、前年同期と比較して施設の稼働日数は増加しておりますが、外注委託が数量及び単価ともに極めて厳しい状況が継続しておりますので、受入数量を制限したため、焼却施設の受入数量は前年同期と比較して20.9%の減少となりました。発電施設の受入数量は、安定稼働を目的として拡大に努めた結果、前年同期と比較して1.6%の増加となり、売電売上高も前年同期比で6.0%増加しております。新築工事現場及びリフォーム工事現場からの廃棄物収集運搬事業も新規取引先の拡大などにより、売上高は前年同期比で59.2%増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は757百万円（前年同期比1.9%減）、売上原価は外注委託費用が低減したため650百万円（前年同期比4.5%減）となった結果、営業利益は106百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

②食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量が2018年10月をピークに減少傾向で推移しております。豚価の下落などにより液状化飼料販売先の養豚農家が肥育頭数を調整していることが影響しております。受入数量は新規取引先の拡大に努めておりますが、販売数量とのバランスを考慮しているため、前年同期比で0.1%減と概ね同数となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、88百万円（前年同期比3.4%増）となりましたが、飼料加工設備の改修等により、売上原価は89百万円（前年同期比17.9%増）となった結果、営業損失は0百万円（前年同期は10百万円の営業利益）となりました。

③白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては施工体制の充実に努めた結果、新規取引先を含め工事件数が増加傾向で推移しており、売上高は前年同期比で20.5%増加しております。また、白蟻工事は既存工事の売上高が増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は115百万円（前年同期比21.2%増）、売上原価は109百万円（前年同期比18.5%増）となった結果、営業利益は6百万円（前年同期比105.2%増）となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料となる木材の乾燥促進による含水率の低下に注力してまいりました。発電数量は一定ですが、発電施設の安定稼働及び払出し原価に大きな影響が発生するため、貯木場でのストック方法に加え発電施設敷地内でのより一層の含水率の低減を目的とした運営に注力しております。電力小売事業につきましては、増加率が若干鈍化しておりますが、販売数量は増加傾向で推移しております。また、地元企業との代理店契約の締結により、より一層の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は958百万円（前年同期比21.2%増）、電力小売事業の拡大による電力仕入費用が増加したため売上原価は794百万円（前年同期比23.1%増）、同様に販売管理費用が増加したため営業利益は130百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて188百万円増加し、6,314百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については現金及び預金、たな卸資産が増加したため、前連結会計年度末に比べて439百万円増加し、2,144百万円となりました。固定資産については減価償却等により、前連結会計年度末に比べて250百万円減少し、4,169百万円となりました。

流動負債については短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、1,352百万円となりました。

固定負債については長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて58百万円増加し、2,773百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べて67百万円増加し、2,187百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて395百万円増加し1,173百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における活動毎のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は269百万円（前年同期は358百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益132百万円及び減価償却費210百万円の計上及びたな卸資産の増加53百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は13百万円（前年同期は62百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出22百万円、有形固定資産の売却による収入24百万円、保険積立金解約による収入27百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は112百万円（前年同期は364百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の増加150百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年8月3日に公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年2月1日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,067	1,242,970
売掛金	476,746	472,909
たな卸資産	270,867	322,963
その他	119,705	105,471
貸倒引当金	△700	-
流動資産合計	1,704,685	2,144,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,811,154	2,811,154
減価償却累計額	△991,283	△1,035,583
建物及び構築物(純額)	1,819,871	1,775,570
機械装置及び運搬具	4,512,343	4,416,235
減価償却累計額	△2,529,982	△2,586,534
機械装置及び運搬具(純額)	1,982,361	1,829,701
土地	271,166	271,166
その他	63,102	65,060
減価償却累計額	△36,810	△39,328
その他(純額)	26,292	25,731
有形固定資産合計	4,099,691	3,902,170
無形固定資産	18,094	15,578
投資その他の資産		
投資その他の資産	302,675	252,041
投資その他の資産合計	302,675	252,041
固定資産合計	4,420,460	4,169,790
資産合計	6,125,146	6,314,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,675	265,985
短期借入金	200,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	592,961	558,733
未払法人税等	34,623	28,129
その他	200,459	149,671
流動負債合計	1,289,720	1,352,521
固定負債		
長期借入金	2,492,675	2,568,405
資産除去債務	109,930	110,083
その他	112,695	95,419
固定負債合計	2,715,301	2,773,909
負債合計	4,005,021	4,126,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	694,539	694,539
利益剰余金	795,771	863,320
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,120,124	2,187,674
純資産合計	2,120,124	2,187,674
負債純資産合計	6,125,146	6,314,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	1,744,075	1,920,626
売上原価	1,495,429	1,644,192
売上総利益	248,646	276,433
販売費及び一般管理費	113,653	114,695
営業利益	134,993	161,738
営業外収益		
受取利息	17	9
保険解約返戻金	-	9,525
その他	2,479	1,495
営業外収益合計	2,496	11,029
営業外費用		
支払利息	16,985	15,542
支払手数料	5,976	30,424
その他	135	2,948
営業外費用合計	23,097	48,915
経常利益	114,393	123,852
特別利益		
固定資産売却益	3,060	8,394
特別利益合計	3,060	8,394
特別損失		
固定資産除却損	11,333	0
特別損失合計	11,333	0
税金等調整前四半期純利益	106,121	132,247
法人税、住民税及び事業税	30,710	22,918
法人税等調整額	3,194	14,534
法人税等合計	33,905	37,452
四半期純利益	72,215	94,794
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,215	94,794

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	72,215	94,794
四半期包括利益	72,215	94,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,215	94,794
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,121	132,247
減価償却費	231,165	210,438
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△53	△700
受取利息及び受取配当金	△17	△9
支払利息	16,985	15,542
固定資産除却損	11,333	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,060	△8,394
売上債権の増減額(△は増加)	2,959	3,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,201	△53,908
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,567	4,310
その他	△29,247	13,259
小計	353,818	316,702
利息及び配当金の受取額	17	9
利息の支払額	△16,863	△16,430
法人税等の支払額	△28,010	△33,060
法人税等の還付額	49,354	2,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,316	269,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53,152	△22,960
有形固定資産の売却による収入	9,757	24,655
保険積立金の解約による収入	-	27,773
その他	△18,664	△15,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,059	13,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	150,000
長期借入れによる収入	300,000	573,000
長期借入金の返済による支出	△385,496	△531,497
リース債務の返済による支出	△38,856	△28,345
シンジケートローン手数料の支払額	-	△23,650
配当金の支払額	△27,432	△27,200
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△212,421	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,207	112,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,950	395,902
現金及び現金同等物の期首残高	736,048	777,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	668,098	1,173,470

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	771,857	85,790	95,497	790,930	1,744,075	-	1,744,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	771,857	85,790	95,497	790,930	1,744,075	-	1,744,075
セグメント利益	90,034	10,164	2,980	137,416	240,596	△105,602	134,993

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,602千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	757,243	88,710	115,790	958,881	1,920,626	-	1,920,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	757,243	88,710	115,790	958,881	1,920,626	-	1,920,626
セグメント利益又は損失 (△)	106,265	△479	6,116	130,347	242,249	△80,511	161,738

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△80,511千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。